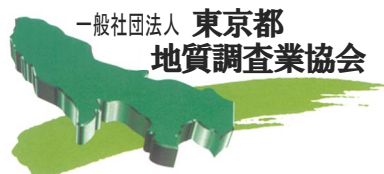


東地協ニュース 2026. 7 第49号



会長就任にあたって ～ 災害対応の経験を、首都東京の備えへ ～

(一社) 東京都地質調査業協会
会長 大山洋一

(応用地質 株式会社
防災・インフラ事業部 副事業部長)



先ごろ開催されました第42回定時総会において、(一社) 東京都地質調査業協会会長に就任いたしました大山洋一と申します。会員の皆様、ならびに日頃より当協会の活動にご支援いただいている関係各位の皆様に、心より御礼を申し上げます。就任に当たり身が引き締まる思いですが、東京都の地質調査業界の発展と社会への貢献に尽力してまいります。微力ではございますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

私は1989年に応用地質株式会社に入社して以来、九州、北海道、四国と全国各地の事業所で、主に防災や社会インフラ建設に関わる各種業務に携わってまいりました。地質の専門技術者として、道路・トンネル・ダム・斜面防災などの各現場を経験するとともに、各地で発生した災害対応等にも従事しました。また、2019年から勤務地が関東となり、主にマネジメント業務を通じて、技術と人、そして組織をどうつなぐかという課題に向き合ってまいりました。

私の職業人生において特に大きな転機となったのが、2016年の九州支社在籍時、二度にわたる最大震度7の大地震に見舞われた「熊本地震」、そして2018年の四国支社在籍時に中国・四国地方に甚大な被害をもたらした「西日本豪雨」等の大規模災害への対応です。いずれの災害においても、大変広域の範囲で多種多様な災害が発生しましたが、私は事業所の災害対応責任者として職員を指揮しながら、被災状況の把握や緊急の現地調査、二次災害防止やインフラ復旧のための調査、行政や関係機関との調整等に当たりました。限られた人員と時間の中で危急の判断を迫られたことが今でも記憶に残っておりますが、事務所の職員や社内外の関係者が無私の気持ちで対応に当たってくれましたので、なんとか乗り切ることができたと思っております。

これらの災害対応の経験を通じて痛感したのは、適切かつ迅速な災害対応は、最終的には「人」の技術力と使命感によって支えられているということ、そして我々が生業とする地質調査の初動対応が、その後の復旧・復興の質とスピードを大きく左右するという現実です。こうした経験を踏まえ、首都東京が抱えるリスクの大きさを改めて強く意識せざるを得ません。首都直下地震発生の可能性、関東平野特有の複雑な地盤条件、地下空間の高度利用、老朽化した各種インフラ、集中豪雨による内水氾濫など、東京には極めて深刻な災害リスクが存在していることは皆様もご承知のことと思います。

(一社) 東京都地質調査業協会の果たすべき役割は、平時から地質調査の重要性を社会に伝え、有事には迅速で的確な技術的支援を行うことにあるものと考えております。そして、それらの活動を通じて会員各社の社業の更なる発展を促すことができれば、これに勝るものはございません。

協会の会長として、現場で培った経験と会員各社の皆様との対話を大切にしながら、業界の社会的信頼のさらなる向上に努め、東京都の防災・減災に貢献できる協会運営を目指してまいります。

今後とも、皆様のご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

● 会議報告等

○ 第42回定時総会

5月12日(火)、エッサム神田ホール2号館 6階中会議室1にて、第42回定時総会が開催された。会員数29社に対し、22社が出席(うち委任状提出9社)し、全議案が承認された。

< 議 案 >

- (1) 令和7年度事業報告承認の件
- (2) 令和7年度決算報告承認の件
令和7年度監査報告
- (3) 役員改選の件

協会理事・監事の任期満了に伴う改選が行われた。改選の結果、下記の通り承認された。

また、理事会において、会長、副会長の互選及び各委員会委員長が決定された。

理 事 (10名)

任期：2年 (令和8～9年度)

<内部理事>

会 長	大山 洋一	(応用地質(株))
副会長	世森 祐一	(大和探査技術(株))
専務理事	岡部 康典	(協会事務局)
技術委員長	川井 康右	(川崎地質(株))
総務広報委員長	蓑輪 淳	(千葉エンジニアリング(株))

<外部理事>

山崎 晴雄	(東京都立大学 名誉教授)
若松 加寿江	(関東学院大学 工学総合研究所)
桑原 文夫	(パイルフォーラム(株) 取締役 副社長)
塚本 良道	(東京理科大学 創域理工学部 教授)
片山 浩明	(東邦地下工機(株) 企画開発本部)

監 事 (2名)

任期：2年 (令和8～9年度)

監 事	倉持 知二 (株建設地盤)
監 事	鈴木 明夫 (株セントラル技研)

<報告事項>

- (1) 令和8年度事業計画の報告
- (2) 令和8年度予算の報告

<総会風景>



<新会長・副会長挨拶>



<懇親会風景>

エッサム神田ホール2号館 8階スカイホールにて



○ 理 事 会



1. 令和7年度 第5回

日時：令和8年1月16日（金）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 東京都「意見交換会」開催結果について
- (3) 北多摩南部建設事務所 所内勉強会開催について
- (4) 大学生を対象とした「地質調査業の紹介」講義について
- (5) 令和7年度決算見込み・令和8年度予算案
- (6) 第42回定時総会【改選期】開催日の工程について
- (7) 令和8年度春期ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会について
- (8) 技術委員会関係
 - 1) 委員会報告(11月19日・12月17日)

2. 令和7年度 第6回

日時：令和8年3月11日（水）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 令和7年度決算見込み及び令和8年度予算について
- (3) 第42回定時総会【改選期】について
- (4) 第8回「災害対策セミナーin 東京」の開催について
- (5) 北多摩南部建設事務所第2回地質調査所内勉強会について
- (6) 災害時等応急対策業務に関する細目協定
「実施計画書」の改定について
- (7) ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会の開催について
- (8) 総務・広報委員会関係
 - 1) 委員会報告(1月23日)
- (9) 技術委員会関係
 - 1) 委員会報告(2月17日)



3. 令和8年度 第1回

日時：令和8年5月12日（火）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 第42回定時総会【改選期】進行について
- (3) 第8回「災害対策セミナーin 東京」の開催について
- (4) 総務・広報委員会関係
 - 1) 委員会報告(4月14日)
- (5) 技術委員会関係
 - 1) 委員会報告(4月15日)

4. 次回理事会開催予定

日時：令和8年7月17日（金）



☆ トピックス (協会行事紹介)

○ 東京都建設局 北多摩南部建設事務所へ講師派遣

研修名：「第二回 地質調査に関する職員向け勉強会」

日 時：令和8年 2月24日(水) 15:00～16:50

会 場：北多摩南部建設事務所 会議室

内 容	講 師
1. 都内の地形概要、地質リスク及び調査計画の立て方	技術委員 富山 恵介
2. 調査計画時の留意点と事故事例より調査を考える	技術委員 長谷川 理
3. 地質調査における IT 活用と DX の取組	技術副委員長 山内 政也

<勉強会風景>



○ ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会（春期）

※ 協力：東邦地下工機(株)

後援：（一社）全国さく井協会

（一社）日本アンカー協会

（一社）全国特定法面保護協会

（一社）日本グラウト協会

（一社）関東地質調査業協会

[日 程] 令和8年4月17日（金）、18日（土）

[場 所] <学科> エッサム神田ホール（東京都千代田区）

<実技> 東邦地下工機(株)（東京都品川区）

[講 師] 東邦地下工機(株) 企画開発本部

片山 浩明氏（協会外部理事）

[内 容]

<学科> ① ボーリングマシンに関する知識

「基礎知識・構造」「運転及び点検・整備」

② ボーリングマシンの運転に必要な

一般事項に関する知識「施工・力学と電気」

③ 関連法令「関係法令・災害事例」

<実技> 運転及び安全のため合図、運転実技

[参加者] 49 名

<学科講習>



<実技講習>



○ 若手技術者向け地質調査基礎講習会

日 時：令和8年6月3日(水) 13:00～14:30

方 式：WEB 形式（zoom ウェビナー）

内 容	講 師
1. 東京臨海部の地形・地質	技術委員 富山 恵介
2. 地質調査の実務	技術委員 井上 玄己
3. （一社）東京都地質調査業協会の活動について	技術委員 近藤 龍児

参加者：39 名

■ 会員 (正会員・賛助会員) 動静

(1) 代表者変更

・(株)アースプライム

[新] 代表取締役社長 密原 秀義 氏

[旧] 代表取締役社長 大和 英一郎 氏

・応用地質(株) 東京営業所

[新] 営業所長 尾上 健 氏

[旧] 営業所長 橋本 晋一 氏

・(株)サムシング

[新] 代表取締役社長 山口 法弘 氏

[旧] 代表取締役社長 成田 芳文 氏

住所・代表者・会社名等の変更がございましたら、お手数ですが協会事務局までご連絡をお願い致します。
(協会事務局 TEL 03-3252-2963)

▲ 行事日程

日 程	行事名・内容等
7月11日(土)	(全地連) 地質調査技士 資格検定試験
7月15日(金)	(関東) 災害復旧事業技術講習会
7月24日(金)	(関東) 経営講演会 (MPC 共催)
8月22日(土) 8月23日(日)	(関東・東京) そなエリア東京 防災イベント
9月10日(木)	(東京) 第8回 災害対策セミナー in 東京
10月23日(金)	(全地連) 道路防災点検講習会
11月6日(金)	(関東) 創立70周年記念式典
11月9日(月) 11月10日(火)	(全地連) 技術フォーラム 2026・岐阜
11月27日(金)	(関東) 地質調査技士 登録更新講習会

◆ 新任委員紹介



大和探査技術株式会社

東京支店 佐藤 光剛

令和8年4月より総務・広報委員として参加させていただくことになりました。

大和探査技術株式会社 東京支店 営業部に所属しており、私は2023年に大和探査技術に入社して今年で3年目になります。以前はプレキャストコンクリート製品を扱う会社、埋蔵文化財を扱う会社の営業をしていました。入社以前から地面の下に関わる仕事をしていたため、比較的早く慣れてきているように思いますが、土質調査に関しては業務の中でも携わることが少なく、調査や積算に関してまだまだ学んでいかないと感じています。

社会人になってから始めた趣味はトレイルランニングです。季節問わず大会にも参加したりしていますが、あまりのきつさにランニングではなくほぼ歩いてしまっており練習不足を感じています。(実績としては、距離160km 累積標高8,000mを41時間かけて歩いたことはあります。途中で諦めてリタイアした大会もたくさんあります。) 6月末には協力業者の方たちとサロマ湖ウルトラマラソンに参加の予定ですが、平坦な道ではなんとかゴールしたいと思っています。旅費交通費、エントリー費用だけでもかなりの出費になりますので…。

弊社は物理探査を扱うことが多く、経験や知識不足でご迷惑をおかけすることがあるかとは思いますが、業界全体の発展に尽力できればと考えておりますので何卒宜しくお願い致します。



お店紹介

割烹 船生（日本料理）

本所吾妻橋に店を構える「割烹船生」は、落ち着いた雰囲気の中で季節の和食を楽しめる一軒です。

東京都墨田区東駒形

3-5-6 千葉ビル 1F

電話 03-6312-7055

都営浅草線「本所吾妻橋」駅

から徒歩3分です。



（店主の船生さん）

開業間もない頃に初めて訪れて以来、久しぶりの再訪となりましたが、なだ万本店などで研鑽を積んだ店主の船生さんが、一人で丁寧に料理を仕立てる姿は変わらず印象的でした。

この日いただいた八寸やお造りには、旬の素材を生かした細やかな仕事を感じられ、締め土鍋ご飯まで一皿一皿に季節感が宿っていました。素材の持ち味を丁寧に引き出した料理が印象に残ります。

本所吾妻橋という親しみやすい立地にありながら、本格的な割烹料理を比較的リーズナブルな価格で楽しめるのも魅力です。接待や会食でも利用しやすく、気軽に本格的な和食を楽しめる一軒です。（T.N）



・編集後記・

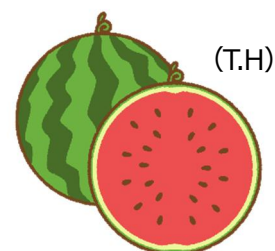


今年も本格的な夏を迎え、現場では暑さとの戦いが始まりました。

安全で質の高い施工を行うためには、技術だけでなく体調管理も重要です。

こまめな水分・塩分補給と十分な休息を心掛け、この夏も無事故無災害で乗り切りましょう。

皆様どうぞご自愛ください。



東地協ニュース 2026.7 第49号

発行・編集 一般社団法人東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-6-8（内神田クレストビル）

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<https://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail info@tokyo-geo.or.jp

